

工事番号																(様式－１)		
課長		係長		担当		設計者		検算者		係員								
令和 7 年度 主要管路整備 岩原低区系専用配水管詳細設計業務委託																	実施設計書	
安曇野市 堀金 烏川																		
設 計 大 要								施 工 方 法				委 託						
設計業務 配水管新設詳細設計 (開削工法) L=880m 配水管新設詳細設計 (推進工法) L= 10m 地質調査ボーリング L=10m								施 工 期 間				日 間						
								起工予定年月日				令和 年 月 日						
								竣工予定年月日				令和 8 年 3 月 13 日						
								契約保証方法										
								・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、L、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。										

総括情報表

頁0-0002

単価適用地区 実施設計単価表等の適用日	50 1 1 中信（2） 07.06.01		
	当 世 代		前 世 代
消費税率（%） 諸経費1 率（%） 諸経費1 端数処理 諸経費2 率（%） 諸経費2 端数処理	10 % 53.85 00 整数止め 53.85 00 整数止め		
	これらの諸経費等の条件については、原則変更協議の対象となりませんのでご理解願います。 冬期補正（現管）欄の記載例 ： 124 は 冬期率12%、4級地 を示します。		

＊ ＊ 業務委託費 ＊ ＊

頁0-0003

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊ ＊ 業務委託費 ＊ ＊						
専用配水管詳細設計						
打合せ			式			
設計協議 新設詳細設計			式			
	1		式			施工 第0 -0001号表
配水管新設詳細設計（開削工法） 小口径（φ350mm以下）			式			
現地調査 新設詳細設計			式			
	1		式			施工 第0 -0002号表
各種計算 新設詳細設計			式			
	1		式			施工 第0 -0003号表
図面作成 新設詳細設計			式			
	1		式			施工 第0 -0004号表
数量計算 新設詳細設計			式			
	1		式			施工 第0 -0005号表

＊ ＊ 業務委託費 ＊ ＊

頁0-0004

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
審査 新設詳細設計						施工 第0 -0006号表
	1		式			
配水管新設詳細設計（推進工法） 小口径推進（φ250mm以上700mm以下）						
			式			
図面作成 推進工法						施工 第0 -0007号表
	1		式			
数量計算 推進工法						
	1		式			
＊＊直 接 費＊ ＊						
＊＊その他原 価＊ ＊						
＊＊直接経費＊ ＊						
電子成果品作成費 6.9*直接人件費（千円）^0.45						
	1		式			
＊＊ 計 ＊ ＊						

**
 業務委託費
 **

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単	価	金	額	備	考
一般管理 費等								
価 格 計								
消費税等 相当額計								
合計額								

設計協議
新設詳細設計

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0001号表

頁0-0006

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 内業		人			
技師（A） 内業		人			
技師（B） 内業		人			
*** 単位当り ***	1	式			

現地調査
新設詳細設計

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0002号表

頁0-0007

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 内業		人			
技師（A） 内業		人			
技師（B） 内業		人			
技師（C） 内業		人			
技術員 内業		人			
*** 単位当り ***	1	式			

各種計算
新設詳細設計

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0003号表

頁0-0008

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 内業		人			
技師（A） 内業		人			
技師（B） 内業		人			
技師（C） 内業		人			
技術員 内業		人			
*** 単位当り ***	1	式			

図面作成
新設詳細設計

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0004号表

頁0-0009

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 内業		人			
技師（A） 内業		人			
技師（B） 内業		人			
技師（C） 内業		人			
技術員 内業		人			
*** 単位当り ***	1	式			

数量計算
新設詳細設計

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0005号表

頁0-0010

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 内業		人			
技師（A） 内業		人			
技師（B） 内業		人			
技師（C） 内業		人			
技術員 内業		人			
*** 単位当り ***	1	式			

審査
新設詳細設計

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0006号表

頁0-0011

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 内業		人			
技師（A） 内業		人			
技師（B） 内業		人			
技師（C） 内業		人			
*** 単位当り ***	1	式			

図面作成
推進工法

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0007号表

頁0-0012

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 内業		人			
技師（A） 内業		人			
技師（B） 内業		人			
技師（C） 内業		人			
技術員 内業		人			
*** 単位当り ***	1	式			

数量計算
推進工法

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0008号表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 内業		人			
技師（A） 内業		人			
技師（B） 内業		人			
技師（C） 内業		人			
技術員 内業		人			
*** 単位当り ***	1	式			

総括情報表

頁0-0001

単価適用地区 実施設計単価表等の適用日	50 1 1 中信（2） 07.06.01		
発注区分 消費税率（%） 地域区分(地質調査安全費)	当 世 代		前 世 代
	41 一般 10 % 04 その他		
	これらの諸経費等の条件については、原則変更協議の対象となりませんのでご理解願います。 冬期補正（現管）欄の記載例：124 は 冬期率12%、4級地 を示します。		

＊＊地質・土質調査費＊＊

頁0-0002

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊＊地質・土質調査費＊＊						
一般調査						
直接調査費			式			
機械ボーリング			式			
土質ボーリング ノンコアボーリング φ66mm レキ混じり土砂 鉛直下方	10	m				施工 第0 -0001号表
サウンディング及び原位置試験			式			
標準貫入試験 レキ混じり土砂	10	回				施工 第0 -0002号表
現場透水試験 ケーシング法 GL－10m以内	1	回				施工 第0 -0003号表
室内試験						

＊＊地質・土質調査費＊＊

頁0-0003

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
土粒子の密度試験 1 試料につき 3 個						
	1		試験			
土の含水比試験 1 試料につき 3 個						
	1		試験			
土の粒度試験 (1) 粘土・粘性土 1 試料－1 個 沈降分析						
	1		試験			
解析等調査						
			式			
資料整理とりまとめ（直接調査費分） 土質ボーリング1本 岩盤ボーリング0本						
	1		業務			施工 第0 -0004号表
断面図等の作成（直接調査費分） 土質ボーリング1本 岩盤ボーリング0本						
	1		業務			施工 第0 -0005号表
直接経費						
電子成果品作成費 機械ボーリング等市場単価 直接調査費は成果品作成費・検定費を除く						
	1		式			施工 第0 -0006号表
＊＊直接調査費＊＊						

地質・土質調査費

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
運搬費										
トラック運転 クレーン付トラック 2t積 2.9t吊										
				日					施工	第0 -0007号表
準備費										
準備及び跡片付け										
	1			業務					施工	第0 -0008号表
調査孔閉塞										
	1			箇所					施工	第0 -0009号表
給水費（ポンプ運転） 2 0 m以上1 5 0 m以下										
	1			箇所					施工	第0 -0010号表
仮設費										
足場仮設 平坦地足場 深度5 0 m以下 高さ0. 3 m以下										
	1			箇所					施工	第0 -0011号表
安全費										

地質・土質調査費

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
施工管理費										
施工管理費(出来高及び工程管理写真等)										
直接調査費は地盤情報DB検定費を除く	1			式					施工	第0 -0012号表
間接調査費										
純調査費										
諸経費										
調査業務価格計										
消費税等 相当額計										
調査業務費計										

施工内訳表

頁0-0006

土質ボーリング

ノンコアボーリング φ 6 6 mm

レキ混じり土砂 鉛直下方

施工 第0 -0001号表

1 m 当り

[illegible]

安曇野市

施 工 内 訳 表

頁0-0007

施工 第0 -0002号表

1 回 当り

標準貫入試験
レキ混じり土砂

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
標準貫入試験 レキ混じり土砂	1.000	回			
*** 単位当り ***	1	回			

施工内訳表

頁0-0008

現場透水試験 ケーシング法

GL-10m以内

施工 第0 -0003号表

1 回 当 り

[illegible]

安曇野市

施工内訳表

頁0-0009

資料整理とりまとめ（直接調査費分）

土質ボーリング1本

岩盤ボーリング0本

施工 第0 -0004号表

1

業務 当り

[illegible]

安曇野市

施工内訳表

頁0-0010

断面図等の作成（直接調査費分）

土質ボーリング1本

岩盤ボーリング0本

施工 第0 -0005号表

1

業務 当り

[illegible]

安曇野市

施 工 内 訳 表

頁0-0011

電子成果品作成費
機械ボーリング等市場単価

施工 第0 -0006号表
直接調査費は成果品作成費・検定費を除く

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
成果品作成費	1.000	式			
*** 単位当り ***	1	式			

施 工 内 訳 表

頁0-0012

トラック運転
クレーン付トラック 2t積 2.9t吊

施工 第0 -0007号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 小型ローリー パトロール給油		L			
運転手（特殊）		人			
トラック損料 クレーン装置付 2t積 2.9t吊 運転1時間当たり損料…(9)欄	2	時間			
トラック損料 クレーン装置付 2t積 2.9t吊 共用1日当たり損料…(11)欄		日			
*** 単位当り ***	1	日			

準備及び跡片付け

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0008号表

1 業務 当り
考

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
準備及び跡片付け	1.000	業務			
*** 単位当り ***	1	業務			

調査孔閉塞

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0009号表

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
調査孔閉塞	1.000	箇所			
*** 単位当り ***	1	箇所			

施工内訳表

頁0-0015

給水費（ポンプ運転）
20m以上150m以下

施工 第0 -0010号表

1

箇所 当り
考

[illegible]

安曇野市

施工内訳表

頁0-0016

足場仮設
平坦地足場 深度50m以下

高さ 0.3 m以下

施工 第0 -0011号表

1

箇所 当り

[illegible]

安曇野市

施工管理費(出来高及び工程管理写真等)

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0012号表

頁0-0017

直接調査費は地盤情報DB検定費を除く

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
出来形管理費等	1.000	式			
*** 単位当り ***	1	式			

数量総括表【設計業務】

上段：当初

下段:變更

[illegible]

数量総括表【地質調査】

上段:当初

下段:變更

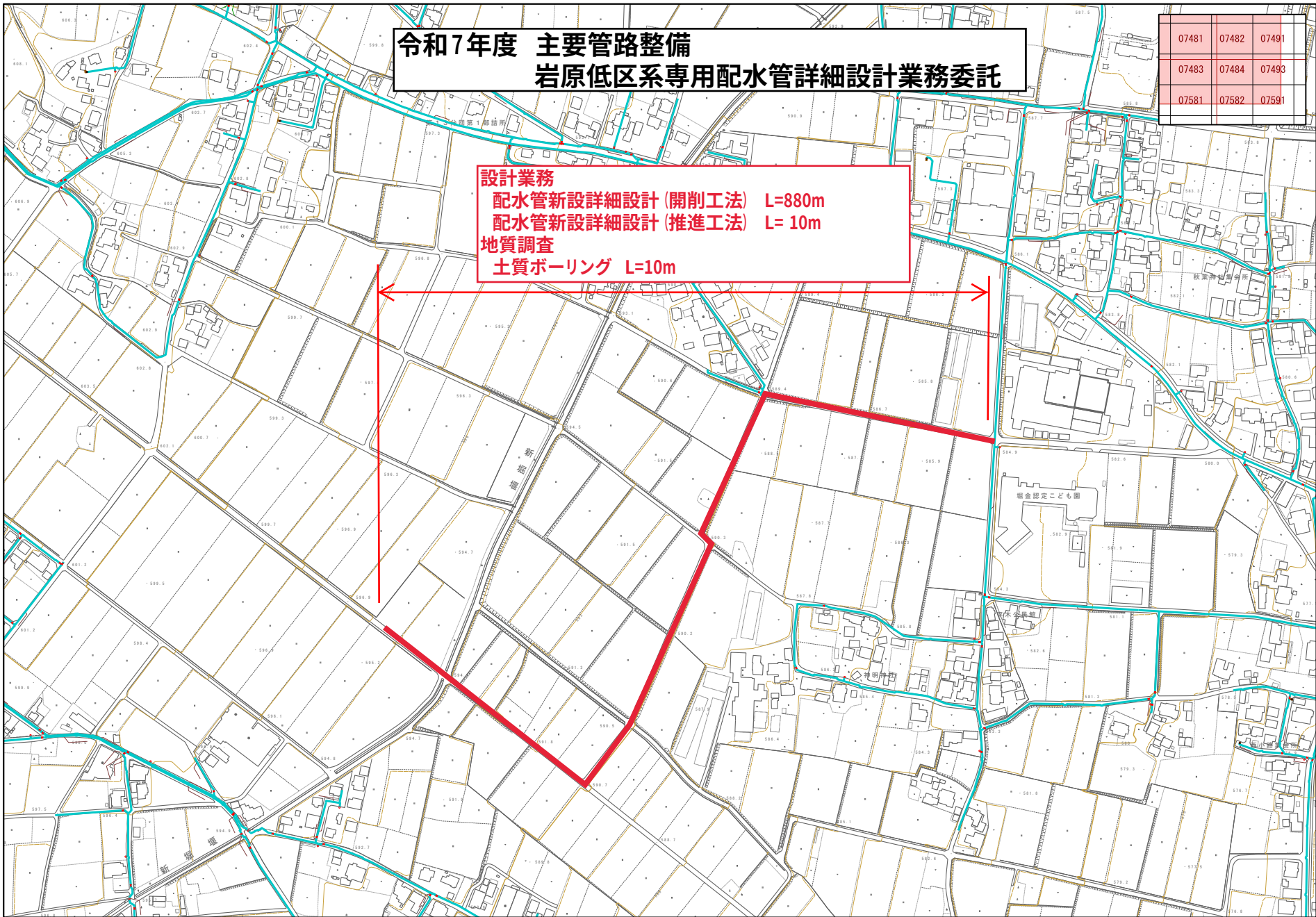
[illegible]

数量総括表【地質調査】

上段：当初

下段:変更

[illegible]

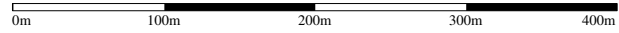


07481	07482	07491
07483	07484	07493
07581	07582	07591

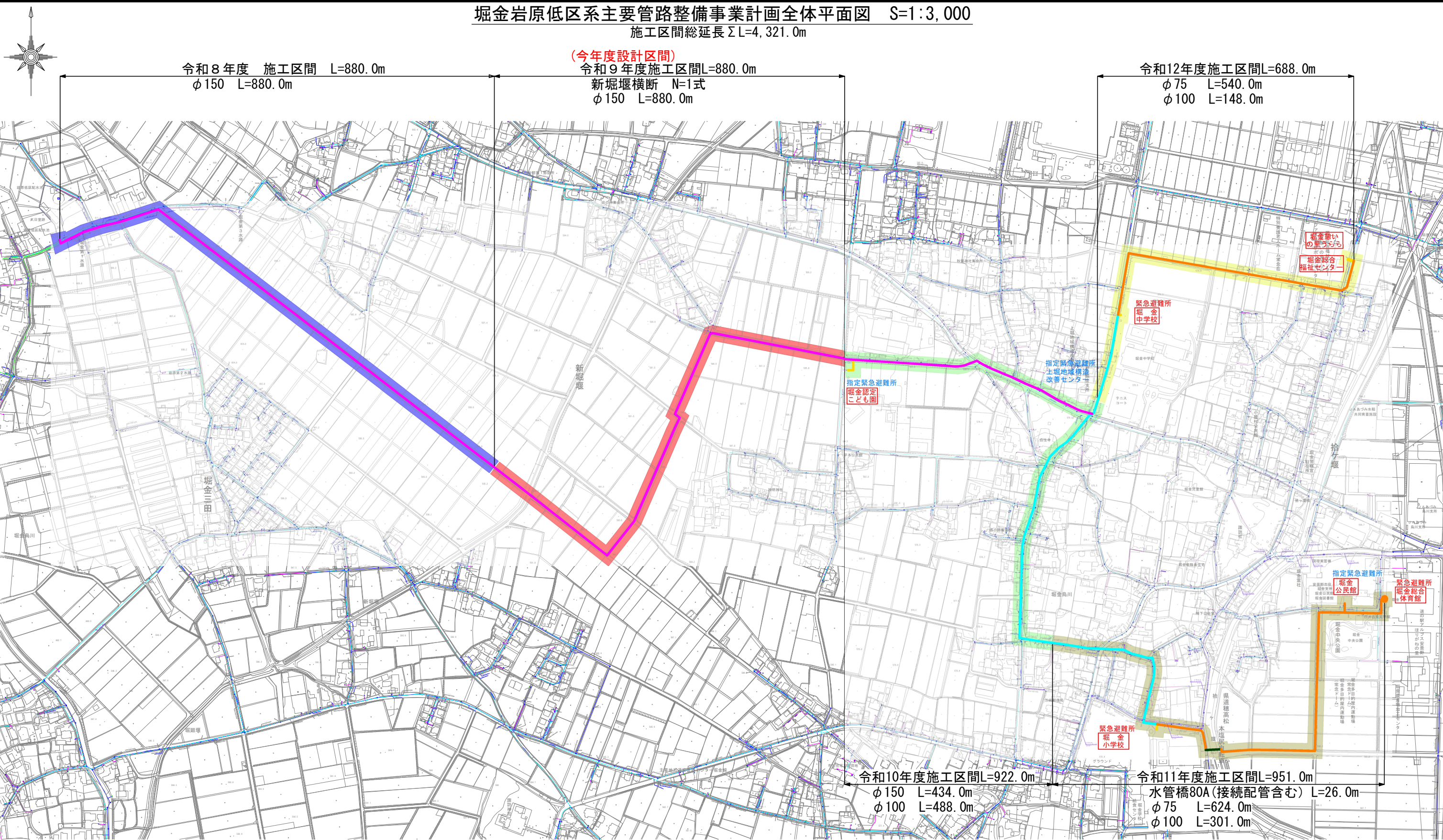
設計業務
配水管新設詳細設計 (開削工法) L=880m
配水管新設詳細設計 (推進工法) L= 10m
地質調査
土質ボーリング L=10m

この画面は参考図面です。
必ず現地を確認してください。

1/5,000



出力: 令和7年5月7日
安曇野市上下水道部



施工年度凡例	施工年度	延長(m)	備考			
	令和8年度	880.0m				
	令和9年度	880.0m	(今年度設計区間)			新堀堰横断(推進工法)
	令和10年度	922.0m				
	令和11年度	951.0m				水管橋(接続配管含む)
	令和12年度	688.0m				
	合計	4,321.0m				

口径凡例	口径(mm)	延長(m)
	φ150mm	2,194.0m
	φ100mm	937.0m
	φ80mm	26.0m
	φ75mm	1,164.0m
	合計	4,321.0m

基本設計図			
事業名	令和4年度 安曇野市水道事業 主要管路整備 岩原低区系専用配水管基本設計業務委託		
図面名称	計画全体平面図		
縮尺	1:3,000 (A1)	図面番号	
受注者	新日本設計株式会社		

令和 7 年度 主要管路整備
岩原低区系専用配水管詳細設計業務委託
仕 様 書

安曇野市 上下水道部 上水道課

第1章 総 則

1 業務の目的

本業務は「令和4年度 主要管路整備 岩原低区系専用配水管基本設計業務委託」を基に安曇野市堀金地区の指定避難場所等重要給水施設へ専用配水管を布設するための詳細設計を行うことを目的とする。

2 法令等の遵守

受託者は、業務の実施にあたり水道法、同法施行令、同法施行規則及び水道施設設計指針など、関連する法令等を遵守しなければならない。

3 秘密の保持

受託者は、業務上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

4 費用の負担

業務に伴う必要な費用は、本仕様書に明記のないものであっても、原則として受託者の負担とする。

5 提出図書

受託者は、業務の着手及び完了にあたって契約約款に定めるもののほか、下記の書類を提出しなければならない。

- | | |
|--------|--------------|
| イ) 工程表 | ロ) 管理・照査技術者届 |
| ハ) 完了届 | 二) 請求書 |

なお、承認された事項を変更しようとするときは、その都度承認を受けるものとする。

6 履行期間

本業務の履行期間は、契約日から令和8年3月13日までとする。

7 管理技術者及び照査技術者

受託者は、管理技術者として技術士（上下水道部門－上水道及び工業用水道）又はRCCM（上水道及び工業用水道）の資格を有する者を配置すること。管理技術者は技術上の管理を行うと共に、本業務に関する一切の事項を円滑かつ迅速に処理できる者であり、業務において十分な経験と能力を有する者があたなければならない。

また、業務の節目ごとに遺漏無き照査を実施するため、照査技術者を配置しなければならない。照査技術者は、技術士（上下水道部門－上水道及び工業用水道）の資格を有する者でなければならない。なお、管理技術者と照査技術者の兼任は不可とする。

8 成果品の審査

- (1) 受託者は、業務完了時に成果品の審査を受けなければならない。
- (2) 成果品の審査において、訂正を指示された箇所はただちに訂正しなければならない。
- (3) 業務完了後において、明らかに受託者の責に伴う業務の不備が発見された場合、受託者はただちに当該業務の修正を行わなければならない。

9 引渡し

成果品の審査に合格後、本仕様書に指定された提出図書類一式を納品し業務の完了とする。

※ 本業務で作成した図面、関係書類すべての著作権は安曇野市へ帰属される。

10 疑義の解決

本仕様書に記載のない事項は「水道施設設計業務委託標準仕様書（日本水道協会）」によるものとし、業務の内容に疑義が生じた場合はすみやかに監督員と協議し、業務の進行をはかるものとする。

第2章 詳細設計

1 基本方針

本業務は、安曇野市堀金地区にある指定避難所等の重要給水施設に配水池から直接給水するための、配水専用管を新設するための詳細設計である。配水専用管を布設するに当たり、計画路線の地形、道路交通状況、沿道利用状況、既設占用物件状況など現地調査を行い、施工性、経済性、機能性、維持管理、安全性、環境等の観点から構造形式、線形、施工方法について検討を行い、その基本的諸元を決定する。

また、現地調査に応じて配水管の移管が必要な場合は併せて設計をおこなうこと。

2 配水管新設詳細設計【開削工法（小口径）L=880m、推進工法（小口径推進）L=10m】

(1) 現地調査

布設対象路線の現地踏査を行い、地上及び地下構造物の有無や周辺環境を含めた路線の状況を把握する。

なお、当初設計にない調査（測量、試掘調査、交通量調査等）を必要とする場合は、調査内容について監督員と協議する。

(2) 資料の収集整理

受託者は、業務上に必要な資料及び地下埋設物、その他の支障物件（電柱、架空線等）について、関係官公署、事業所などの将来計画も含め十分な調査を行う。

(3) 地下埋設物調査

現地調査を別途行う場合は、受託者はその調査に立会い、地下埋設物の種類、位置、深さ、構造等をそれらの管理者が所有する資料と照合し確認する。

(4) 計画図面作成

設計図面として、埋設位置を示す平面図、地下埋設物を含めた横断図を作成する。なお、道路・河川・鉄道等の横断工については別途、布設位置や施工方法の検討を行う。

(5) 概算工事費算出

設計図面を元に概算の工事費を算出する。

(8) 報告書作成

報告書として以下に検討した内容をまとめる。

- ① 調査結果からの基本条件
- ② 水圧や耐震性を勘案した管種・管厚
- ③ 布設位置の設定及び図面
- ④ 仕切弁・空気弁・排泥弁等の弁類の位置
- ⑤ 仮設工（土留工、仮設配管）
- ⑥ 施工方法（施工順序・工程）
- ⑦ 工事数量総括、発注用図書

3 地質調査

さや管推進（小口径）の設計にあたり、現地にて地質調査（機械ボーリング）を実施すること。なお、調査数量は以下のとおり想定しているが、実施状況により調査方法及び試験項目等に変更が生じる場合は監督員と協議すること。

- ・土質ボーリング（礫混じり土砂） L=10m（1箇所）
- ・標準貫入試験（ 〃 ） L=10回
- ・現場透水試験 1回
- ・土粒子の密度試験 1試料
- ・土の含水比試験 1試料
- ・土の粒度試験 1試料

第3章 共通編

1 設計協議および照査

(1) 設計協議

業務着手時、中間報告時等、業務の区切りにおいて、必要に応じて協議する。着手時及び業務の区切りにおいて監督員と打合せを行い、その結果を書面（打合せ記録簿）に記録し、相互に確認する。打合せの時期は業務工程表に示す。仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合は速やかに監督員と協議する。

(2) 照査

照査技術者は、設計図書において定めがある場合、下記に示す事項を標準として照査を行い、管理技術者に照査報告書を提出する。

- ① 設計条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。特に地形、地質条件及び道路交通、沿道条件、既設占用物件については、設計の目的に対応した情報が得られているかの確認を行う。
- ② 基本設計図面をもとに管径、形式、線形、仮設工法等と、設計基本条件及び他の事業計画との整合が図られているかの照査を行う。
- ③ 設計計算、設計図、概算事業費の妥当性について照査を行う。

2 準拠すべき図書

下記に掲げる基準を遵守しなければならない。

- ① 水道法及び関係法令
- ② 水道施設設計指針 2024（日本水道協会）
- ③ 水道維持管理指針 2016（日本水道協会）
- ④ 水道施設耐震工法指針・解説 2022（日本水道協会）
- ⑤ 水道の耐震化計画等策定指針（厚生労働省健康局 2015 年）
- ⑥ 水道事業ガイドライン（日本水道協会 2016 年）
- ⑦ 水道事業実務必携 2025（全国簡易水道協議会）
- ⑧ その他

3 提出図書

- ① 基本設計報告書（図面を含む） A4版 1部
- ② 打合せ議事録及び その他参考資料..... 1部
- ③ その他監督員が指示するもの 1式

（その他）

契約締結後に資料として以下のものをデータ提供する。

- ・ 上水道、下水道台帳図（PDF もしくは DXF）
- ・ 「令和4年度 主要管路整備 岩原低区系専用配水管基本設計業務委託」 成果品